

第1学年1組 外国語(英語)科 学習指導案

令和6年1月26日(金)5校時

松江市立第四中学校

授業者 岩崎香織

A L T Carla Van Der Westhuizen

- 1 単元名 自分の『推し』を紹介してA L Tにも好きになってもらおう
(Our Project 2 この人を知っていますか *Sunshine English Course 1*)
- 2 単元の目標 自分が興味・関心をもっている人物について伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

3 関係する領域別目標

話すこと [発表]	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
--------------	---

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	・自分が興味・関心をもっている人物について、事実や自分の考え、感じていることやその理由を整理し、序数や接続詞等を用いて話す技能を身に付けている。	・自分が興味・関心をもっている人物について伝えるために、事実や自分の考え、感じていることやその理由を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	・自分が興味・関心をもっている人物について伝えるために、事実や自分の考え、感じていることやその理由を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。

5 学習の基盤

(1) 教材について

2学期に指示代名詞、人称代名詞、3人称単数現在形の平叙文、疑問文、否定文を学習しているので、身の回りの他者について表現することができるようになった。そこで、本単元では「他己紹介」を扱う。自分が興味・関心のある人物をA L Tにも好きになってもらうために、生徒は紹介する人物の魅力やよさについてしっかり考え、どのように伝えとよいか練る必要がある。ここで考えたことがスピーチの内容を充実させることにつながるだろう。また、紹介した人物に対してA L Tが興味を示してくれば、自分の英語が伝わったという成功体験にもなり、今後の生徒の英語をつかうことに対する自信にもつながると考える。マッピングを使って構想を練り、友だちと協働することを通して自身のスピーチを磨いてほしい。

(2) 生徒について

個人情報保護のため省略

(3) 指導について

本学級の生徒達は小学校5年生のとき、憧れの人を紹介したり、身近な人を紹介したりする単元で「他己紹

介」を経験している。She can cook.→She can cook *sukiyaki*.のように「一般的な情報を伝えるのではなく、その人らしさが出るような紹介にしよう」というアドバイスを受けて、話す内容を充実させる工夫をしていた。本単元では自分の『推し』を紹介するので、その人らしさや自分だけが知るよさなどを生徒から引き出したい。学級内に同じ人物について紹介する人がいても、生徒が自分のオリジナルスピーチだと自信をもって発表できるように支援したい。

1学期に行った「自己紹介」の単元で「相手にわかりやすいスピーチの工夫」についてたずねたところ、「ジェスチャーを取り入れる」「相手の反応を見ながら話す」「話し方を内容によって緩急を付ける」などと、どうすればよいか生徒なりに考えたり判断したりする生徒が多くいた。これらは小学校でのスピーチ活動でも意識していることだと伺い、中学校でも継続して大切にしていきたいことである。ただ、具体的にスピーチ原稿を書く段になると、なかなか書き始めることができない生徒がほとんどであり、「話し方」のよいスピーチのイメージはあるものの、何をどう書かが浮かびにくく、「話す内容」を充実させることは難しいことが分かった。小学校で行った言語活動を振り返り、本単元でも活用できる既習の言語材料等を想起させ活用させたい。また、本単元での他己紹介の目的に合った内容や工夫を考え表現できるように、目標に対する振り返りをして課題を解決したり、グループワークでお互いにアドバイスを入れたりして、学級全体で「こうしたら自分もできるかもしれない」という具体策を共有していきたい。

本時はグループ内でお互いのスピーチを聞き合い、友だちからのアドバイスを取捨選択して、自分のスピーチの完成度を上げる活動を行う。スピーチを聞くときには、①話す内容②話し方の2点についてアドバイスができるよう、聞き方の視点を共有してから活動に取り組む。特に②については小学校でスピーチ活動を行うときに意識してきたことを想起させたい。友だちからの具体的なアドバイスが自分のスピーチをよりよくすることに役立ったという経験から、他者と共に学ぶよさを味わい、協働的に学習を深めていくことができる学習集団にしていきたい。

6 単元の指導計画と評価計画

次	ねらい(○) ・主な学習活動等	知	思	態	評価規準[評価方法]
1	○単元の終末活動について知り、モデルスピーチを聞き取ったり読み取ったりすることができる。 ・モデル文を聞いて概要を把握する ・スピーチの構成について考え相手に伝わりやすくする工夫について学ぶ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。 生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、授業者が生徒の学習状況を確認する。 </div>			
2	○自分の興味ある人物について伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、スピーチのための準備をすることができる。 ・マッピングを行い、紹介したい人物について情報を書き出す ・マッピングを用いて即興でペアの相手に話す ・スピーチ原稿を作成する				
3 (本時)	○友だちのスピーチを聞いて、感想を伝えたりアドバイスしたりすることができる。 ・伝わりやすいスピーチの視点を確認する ・スピーチをグループ内で発表し、お互いに質問しあう ・友だちのアドバイスを受け止め、内容と話し方の両面についてスピーチをよりよくする	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。 生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、授業者が生徒の学習状況を確認する。 </div>			
後日	○ALTに自分の興味のある人物について伝えることができる。				

7 本時の学習

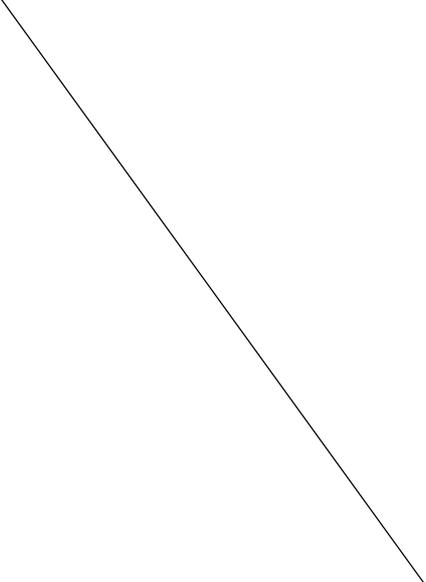
(1) 本時の目標

友だちからのアドバイスを受け止めて、自分が伝えたい内容を整理し、まとまりのあるスピーチを行うことができる。

(2) 本時の展開

時	生徒の学習活動	教師の支援
10分	<p>あいさつ</p> <p>前時の振り返りと本時の目標を確認する</p> <p>感想やアドバイスを伝え合い、スピーチを完成させよう</p> <p>本時の活動の説明を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で順番にスピーチを発表する ・付箋に感想やアドバイスを書く <p>緑：話す内容についての感想・アドバイス 黄：話し方についての感想・アドバイス</p> <p>アドバイスの視点を共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す内容を充実させるためのアドバイス ・話し方を充実させるためのアドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの授業を振り返り、単元のゴールと本時の目標を確認する。 ・ALTとのデモンストレーションを行い、活動内容を示す。 ・話す内容を充実させるためのアドバイスが出にくいと考えられるので、以前の授業で出た内容を想起させる。
10分	<p>グループ内でスピーチを発表し、付箋にアドバイスを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順番にスピーチを聞き、アドバイスを書いて渡す 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチが進んでいない生徒を支援する。
25分	<p>友だちからのアドバイスを受け止め、スピーチ原稿を仕上げ、練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す内容を充実させる→原稿の加筆修正を行う ・話し方を充実させる→お互いに撮影し合って確認する ・グループ内で再度発表し、コメントし合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の取り組みに適宜アドバイスをする。 ・スピーチ原稿や話し方のよりよくなった箇所を見つけ声をかける。
5分	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る ・ALTに発表するときに、意識したいことを書く 	

(3) 本時の形成的評価の見取り(思考・判断・表現)

<p>十分満足できると判断される生徒の姿</p>	<p>おおむね満足と判断される生徒の姿</p>	<p>支援を要する生徒への手立て</p>
<p>友だちのアドバイスを受け止めて、自分が伝えたい内容を整理し、事実に自分の考えを加えてまとまりのあるスピーチを行っている。</p>	<p>友だちのアドバイスを受け止めて、自分が伝えたい内容を整理し、まとまりのあるスピーチを行っている。</p>	<p>スピーチ原稿を確認しながら発音練習を一緒に行う。 撮影した動画と友だちからのアドバイスを一緒に比較して、より伝わりやすい話し方への気付きを促す。</p>
<p>十分満足できると判断される生徒のスピーチ (例)</p>	<p>おおむね満足と判断される生徒のスピーチ (例)</p>	
<p>Hello, everyone. My favorite person is Kagawa Shinji. I have three reasons. First, he is a good soccer player. I'm a big fan of him. Second, I learn a lot of things from his play. I want to play like him. Third, he is kind to everyone. So I like him. Thank you.</p>	<p>Hello, everyone. My favorite person is Kagawa Shinji. I like him because he is a good soccer player. I learn a lot of things from his play, for example, his dribble. He is kind to everyone. So I like him. Thank you.</p>	